

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

第10号 2013年1月発行
～田辺かずき事務所～
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■12月議会の詳報
地域防災の強化策
■古賀のみなさんと
もちつきラッシュ

古賀の「現場」を提示、事業強化へ！



県議会本会議で小川洋知事（写真左）に問題提起＝12月議会

田辺一城の 「箱」

□新たな年の
の決意

2013年
がスタートし
ました。今年
も福岡県議会
議員として、地方政治家
の一人として、ふるさと
の古賀、福岡、九州、そ
して国家の発展につなが
るよう、力を尽くします。
政治は「現場主義」です。
これからもしっかりと

地域を回り、地元の皆さ
んの「声」を聞かせてい
ただいたうえで、住民課
題の解決のため、小川洋
知事らに政策を提案して
いきます。

□現場主義を貫く

私たち政治家に求めら
れていることは、政治家
個人としての地に足をつ
けた活動だと考えます。
政治家を特権的位置づけ
にせず、住民の皆さんの
「声」の代弁者として、
いかに活動していくか。
その実現のために、今年
も古賀市内の各地域の公
民館・集会所を回る「対
話集会」を継続し、地域
行事にも参加させていた
だきます。ぜひ、気軽に
お声かけください。

□議会質問の重要性

私は就任以来、古賀

での活動を踏まえ、す
べての議会で知事に問題
提起をしてきました。微
力ながら、政策提案が実
を結んだものもあります。
直近の昨年12月議会では、
公約の柱の一つである防
災対策をテーマに設定。
高齢者や障がい者の皆さ
ら災害時要援護者の避
難支援を確立させるため、
県として市町村の取り組
みをサポートするように
要請し、知事は「積極支
援」を約束しました。

□公約を心に刻んで

私の公約の柱は、社会
福祉の充実や防災対策の
強化、中小企業や農林漁
業の振興、議会改革など
です。この年明け、あら
ためて心に刻みました。
県政の発展につながるよ
う、一歩ずつ、着実に取
り組んでいく決意です。
年始からJR古賀駅や千
鳥駅に立ち、あいさつを
させていただいています
が、ますます寒くなって
いるのを実感します。皆
さまもご自愛ください。

～田辺の一般質問のポイント～

質問・提案の趣旨	答弁者	答弁の内容
防災対策の「個別計画」策定で市町村の支援強化を	知事	積極的に支援。事業の充実強化を図る。

政治活動を連日発信中！

ブログ(活動日記)
公式ホームページ

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>

裏面へつづきます

▶市内各地で対話集会
の開催を継続 11月30
日、小山田区



▶各地のもちつきにお
じやました 12月
23日、鹿部区



防災対策で市町村を積極支援！

12月議会 一般質問

県議会12月定例会（12月3日～20日）で、私は7回連続7回目の一般質問に立ちました。知事に対し、高齢者や障がい者の皆さんら災害時要援護者の避難支援のための「個別計画」策定促進について問題を提起し、知事は市町村の取り組みを支援するために「（県事業の）充実強化を図る」との方針を表明しました。これに関し、知事はNHKの新春インタビュー（1月4日放送）でも同様の方針を述べています。

田辺「市町村へのサポート強化を」 知事「事業を工夫し、充実を図る」

東日本大震災などを経験した私たちの社会は、災害時要援護者が地域の中で、素早く、確実に避難できる体制を整備しておくなければなりません。その最大のポイントが、個々の要援護者ごとに、誰が、誰を、どのような手段で避難させるかといった内容を決めておく具体的な計画である

「個別計画」を策定することにあります。知事は私への答弁で、「個別計画について、全ての団体（市町村）で早期に策定が実現できるように、積極的に支援していききたい。この事業の内容にさらなる工夫を凝らし、事業の充実強化を図っていききたい」と表明し、事業の発展的な継続を約束しました。

実は質問の発端は、古賀市内で開催されている防災ワークショップです。県事業の「モデル地区」に選ばれた県内19市町村の23区域で開かれるもので、古賀市では古賀団地と花鶴丘3丁目区の2カ所が選定されています。



質問のきっかけ～古賀で開催のワークショップの「現場」

私はワークショップに参加し、防災意識の向上につながっていると強く実感しました。防災の基本は、個人や地域の主体性、積極性。ある男性も「住民はみんな協力的で、自分のこととして参加できている。今までは『聞くだけ』の講習会が多く、自分たちで考え、動く機会はあまりなかった」と話し、効果を実感している様子でした。

また質問への答弁では、福岡県における個別計画の策定状況が18.3%にとどまっている現状と、4年後の2016年度末までに91%を目指す方針が示されました。

私は、県が目標を達成するために、個別計画の策定を今回のモデル地区以外の地域を含む県内全域に早急に波及させられるよう、「引き続き、さらなるノウハウの伝達などを含めて、（市町村を）しっかりとサポートできる事業として発展させてほしい」と要請しました。（質問と答弁の全文は公式HPで読むことができます）



果樹栽培でキウイ生産・加工現場を視察
＝11月9日、八女市で

県産果樹の振興へ — 八女視察

福岡県議会には超党派の果樹振興議員連盟があり、果樹栽培の盛んなエリアを地元とする県議で構成しています。農家の皆さんが温州ミカン、山見阪ネーブルやデコポン、イチゴなどを生産してくださっている古賀市の県議として、もちろん

みなさんと ともに 古賀での活動



まつり古賀の
開会式であいさつ

年末も古賀市内各地で「対話集会」を開催。鹿部区（古賀西・花鶴校区）、舞の里3区（舞の里校区）、今在家区（青柳校区）、小山区（小野校区）で、ご意見やご要望をいただきました。

古賀の年の瀬といえば、もちつきです。「地域の若手」として、古賀交番前で開かれた交通安全もちつきはもちろん、千鳥小学校区福祉会、花見東1区、古賀南区、鹿部区、日吉台区など各地でつかせていただきました。お声かけいただき、ありがとうございます。年末の防犯防火特別警戒の出発式へも。地域の見守り隊や消防団など安全・安心のために活動してくださっている皆様に感謝いたします。



花見東1区のもちつきにも参加

この冬も芸術に触れました。恒例となった「第九」演奏会を堪能し、市立図書館で開かれた「『古賀市・周辺の野鳥』写真展」では古賀の魅力や再認識。糟屋地区美術展の表彰式では、地域の県議を代表して祝辞を。文化・芸術は人間の営みそのものです。

古賀の農業まつりには家族で参加。農林漁業はこの国の根っこ。子どもたちも大喜びでした。JA粕屋本所で開かれた粕屋農業まつりにも参加させていただきました。



朝のしほ駅で
県政報告を配布

そして、「まつり古賀」。農工商が息づくまち。その魅力を満喫できる一大イベントで、子どもたちも大盛り上がり。今回の目玉のひとつは「K-1（古賀の一品）グランプリ」で、私も審査員の一人として参加。まつりに出店された皆様、実行委員会の皆様深く感謝を申し上げます。

このほか前号では触れられなかった秋のイベントとして、古賀西校区のグランドゴルフ大会、鹿部区文化祭、リズム体操のつどいなどにも足を運ばせていただきました。

私もメンバーに入っています。11月9日、キウイフルーツで全国トップの生産量を誇る八女市を視察し、生産や出荷、加工の現状を学ばせていただきました。また、東京で開かれた都道府県議会議員研究交流大会（11月13日）にも

参加し、大規模災害の発生時に地方議員として何をなすべきかを、東日本大震災と福島第1原発事故の経験と踏まえ、宮城や福島県の皆さんから教えていただきました。（いずれも詳細な報告は公式HPやブログにあります）

<田辺かずきプロフィール>

- 1980年5月16日生まれ
- 1987年／暁の星幼稚園 卒園
- 1993年／花鶴小学校 卒業
- 1996年／古賀中学校 卒業
- 1999年／福岡県立福岡高校 卒業
- 2003年／慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社／福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
- 2006年／大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事（当時）、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
- 2011年／福岡県議会議員 初当選
毎日新聞社 退社
- 【所属】厚生労働環境委員会、国際交流推進対策調査特別委員会、民主党福岡県第4区総支部 幹事長、民主党福岡県連青年・国民運動委員会事務局長



【家族】会社員の妻、5歳の長男、2歳の長女
【最近の私事】新年、家族で過ごすことができるわずかな時間を大切に。初詣は鹿部山の皇宮宮、古賀神社などへ。子どもたち、友だちとコマ回しに熱中した時期がありました。ついでにわが子にその技術を伝授。／まもなく小学校に入学する長男にランドセルを購入。心待ちにしていたようで、大喜びしてくれました。